

■救急医療関連のトレーニングコースの例

No	コース名	開講主体	コースの概要	プログラム	参加要件・対象者	費用	実施実績
1	AHA BLS ヘルスカエプロバイダーコース	アメリカ心臓協会(AHA)	アメリカ心臓協会(AHA)の公式BLSコース。 成人、小児、乳児の一次救命処置、気道異物、AEDについて学ぶ。 筆記試験あり。資格の有効期限は2年間。修了者にはAHAのBLSヘルスカエプロバイダーカードが発行される(有効期間2年)。1日間(6~7時間)。	<ul style="list-style-type: none"> 成人・小児・乳児CPR並びにCPR効果確認 BVM換気法 AEDの概要(使用法、効果確認方法) 挿管された患者のCPR FBAO 各手技の反復練習(シナリオに基づいた練習) 筆記試験 	医師、看護師、救急隊員、その他メディカルスタッフ、一般の方。	受講料18,000円 別途テキスト必要	全国開催。 ※近隣では、北陸かなざわトレーニングラボや金沢医大で開催。
2	AHA ACLS プロバイダーコース	アメリカ心臓協会(AHA)の公式ACLSコース。 成人・乳児・小児の一次救命処置・二次救命処置。心停止だけでなく、重症不整脈や急性冠症候群、脳卒中の初期治療を学ぶ。 筆記試験あり。資格の有効期限は2年間。修了者にはAHAのACLSヘルスカエプロバイダーカードが発行される(有効期間2年)。2日間(15時間程度)。	<ul style="list-style-type: none"> 成人患者に対する気道管理 心停止(心室細動/無脈性心室頻拍/PEA/心静止)への対応 徐脈性不整脈への対応 頻脈性不整脈への対応 ACS(急性冠症候群)への対応 脳卒中への対応 心拍再開後の管理、ケア 筆記試験 	AHAのBLSヘルスカエプロバイダーコースを履修していること。医師、看護師、救急救命士、その他メディカルスタッフ。	受講料38,000円 別途テキスト必要	全国開催。 ※近隣では、石川県立中央病院で開催。	
3	AHA PALSプロバイダーコース	※公認国際トレーニングセンターとしては、日本救急医療教育機構国際トレーニングセンター(JIEME-ITC)や、日本医療教授システム学会トレーニングセンター(JSISH-ITC)がある。	病院内外での小児の緊急事態に対する二次救命処置を学ぶ、医療従事者を対象としたコース。 BLSからACLSを通して目の前の乳児、幼児の呼吸、循環系に関わる緊急病態や心停止の評価と管理を学び、 重度の疾病あるいは外傷を負った小児に対する救命、治療スキルの向上を目的とするもの。 修了者にはAHAのPALSヘルスカエプロバイダーカード(有効期間2年)が発行される。2日間(15時間程度)。	<ul style="list-style-type: none"> 心停止の危険性のある小児の病態識別と治療 体系的アプローチを用いた小児の評価(一般的評価、初期評価、二次、三次評価)とそれに基づく重症度分類、決定、治療行動の手順 PALSアルゴリズムとフローチャート 効果的な蘇生を行うためのチーム力 	AHAのBLSヘルスカエプロバイダーコースを履修していること。小児科医はもとより小児科以外の医師、看護師、救急隊員で小児医療に関わりを持っている、あるいは関心のある医療従事者。	受講料42,000円 別途テキスト必要	全国開催。 ※近隣では、北陸かなざわトレーニングラボで開催。
4	ACLS基礎(ICLS)コース	アメリカ心臓協会(AHA)が提示する10ケースのうち、『 突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生 』に重点を絞った内容。1日間。	<ul style="list-style-type: none"> ACLS、BLS(一次救命処置) モニター/電気ショック、気道管理と挿管 チーム蘇生BLS(意識の確認から波形宣言まで) VF/無脈性VT、PEA/心静止 メガコード(テストあり) 試験 	医療者が対象(医師、看護師、救急救命士、歯科医師、臨床検査技師、医学部学生などが受講)	受講料5,000円 別途テキスト必要 (石川コースの実績)	随時開催(全国)	
5	BLSコース	日本救急医学会	気道異物の除去やAED(自動体外式除細動器)での除細動を学ぶ。 講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としている。ICLSの前段階コースとして位置づけられている。認定取得には90分以上必須。	<ul style="list-style-type: none"> CPR、AED 実技テスト、筆記試験 	医療者が対象(医師、看護師、救急救命士、歯科医師、臨床検査技師、医学部学生などが受講)		各地域の認定コースディレクターによる企画により全国で開催が可能。 ※ICLS石川コースは、加賀市民病院、セミナーハウスあいりすでも開催実績あり
6	ISLSコース	日本救急医学会と日本神経救急医学会	脳卒中初期診療に対する一定の手順に基づき、神経蘇生に必要なスキルを身につけるトレーニングコース。 ICLSのうち、脳卒中に特化させたものという位置づけ。半日。	<ul style="list-style-type: none"> ISLSシナリオデモンストレーション 意識障害の評価 脳卒中スケール 呼吸/循環管理 症例提示 		HPに明示なし (10,000円程度の模様)	

7	外傷初期診療 (JATEC)コース	JTCR(日本外傷診療研究機構)	外傷診療に必要な知識と救急処置を、模擬診療を介して学習するためのトレーニングコース。座学、技術・技能習得、ケースシナリオ等をこなし、最後に学習効果を判定するためにOSCE(客観的臨床能力評価試験)が行われる。2日間。	【講義】 JATECの外傷診療理論、初期診療DVD放映とSkill stationのポイント、初期診療(primary survey/ secondary survey)デモンストレーション、模擬診療(CS) 【実技】 Skill station(外科的気道、胸腔穿刺・ドレナージ、FAST、心臓穿刺・骨髄内輸液、胸部X線読影、骨盤X線読影、頭部外傷、頸椎X線読影)、初期診療(primary survey/secondary survey)、模擬診療(CS)、ケーススタディ 【評価】OSCE	医師	受講料 60,000円	東京・大阪・福岡・名古屋を中心に全国で開催(月2回程度) ※HPより、1回あたり100名前後の申込みがある様子(定員32名)
8	病院前外傷初期診療(JPTEC)コース	一般社団法人JPTEC協議会	日本救急医学会公認の病院前外傷教育プログラムであり、医師向けのJapan Advanced Trauma Evaluation and Care (JATEC)との整合性を保つことにより、病院前から院内まで一貫した標準的な外傷教育として位置する。当コースの到達目標は、病院前救急医療の現場におけるロード&ゴーの概念を理解し、各段階において必要とされる観察・処置を見落としなく迅速に実施できるようになること。有効期間は3年間。1日間。	・頸椎カラー ・ヘルメット離脱 ・ログロール、全脊柱固定(傷病者の体を丸太を転がすように体位変換させる手技) ・状況評価、初期評価 ・気道管理 ・全身観察 ・緊急処置 ・車内活動(搬送先の医師との情報共有、傷病者から聞き出しておくこと、病院到着までの観察・評価・処置等) ・車外救出 ・筆記試験、実技試験	消防吏員、救急救命士 医師、歯科医師 看護師及び准看護師 診療放射線技師 臨床検査技師 薬剤師 警察官、海上保安官及び陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の自衛官	受講料 8,000円 ~12,000円(決まった受講料はなし)	JPTEC中部エリアでは、月1回の頻度で開催(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、山梨、富山、福井、石川の9県で順次開催) ※加賀市民病院でも不定期に開催
9	ATOM (Advanced Trauma Operative Management) 外傷外科トレーニングコース	一般社団法人日本外科学会	ATOMコースは1日の中で30分の講義7コマの後、3時間の実技で行われ、12の外傷症例に対する外科実習が行われる。コース修了後、米国外科学会発行の修了証明書が与えられる。	【講義】 外傷における開腹手術、脾臓・横隔膜損傷、肝損傷、腓十二指腸損傷、泌尿生殖器損傷、心血管損傷 【実技】各臓器の外傷を同定し、修復を行う。 膀胱、尿管、十二指腸、腎臓、胃、横隔膜、膵臓、脾臓、肝臓、心臓、下大静脈 【評価】プレテスト、ポストテストをオンラインで実施	外傷外科診療にかかわる一般外科医	受講料 250,000円	自治医大、九大、大阪市大にて開催(2ヶ月に1回程度)
10	FCCS (Fundamental Critical Care Support) コース	米国集中治療医学会 ※国内では、特定非営利活動法人日本集中治療教育研究会が開催。	米国集中治療医学会が提供する集中治療に関するトレーニングコース。内科系、外科系などの分野を問わず、急変後、どんなショックかを認識、血ガスを解釈し、どんな輸液で治療を開始、どんな抗生剤を開始、どんな病態にあわせ最適な人工呼吸器の設定を検討するという、ACLSやJATECなどの内容も踏まえながら、講義とシミュレーションを中心としたもの。2日間。	・FCCS概要 ・重症患者の見分け方と評価 ・ショックの診断と治療 ・血流、酸素化、酸塩基平衡のモニタリング ・致命的感染症(診断と抗菌薬の診断) ・神経学的サポート ・生命を脅かす電解質異常及び代謝異常の管理 ・急性冠症候群と特殊病態 ・妊娠期の集中治療管理 ・集中治療における倫理 ・急性呼吸不全の診断と治療 ・人工呼吸 ・ポストテスト	集中治療にかかわる医師、コメディカルスタッフ	受講料 50,000円	全国開催(毎月)
11	PFCCS (Pediatric Fundamental Critical Care Support) コース	米国集中治療医学会 ※国内では、特定非営利活動法人日本集中治療教育研究会が開催。	米国集中治療医学会が提供する小児集中治療に関するトレーニングコース。CCSコース、PALSコースのコンセプトに加え、重症小児患者の状態を安定化させ、しかるべき医療機関へ安全に搬送することもコース・コンセプトにある。気道管理、鎮静鎮痛、人工呼吸管理、侵襲的手技の合併症など、他のコースにはない実技内容を含む。2日間。	・PFCCS概要 ・急性呼吸不全と人工呼吸 ・循環評価とショック ・急性感染症 ・輸液と電解質 ・鎮静、鎮痛、筋弛緩薬 ・外傷 ・術後管理 ・神経系緊急事態 ・患者搬送 ・ポストテスト	小児科や集中治療部、救命救急センター等に所属する医師、研修医、看護師、臨床工学技士、救命士	受講料 50,000円	東京又は大阪にて開催(年2~3回)